

平成 25 年度 事業経過報告

“まとめ”

理事長 渡部 タミ

長年の要望が実り「母子家庭の母及び父子家庭の父の就労に関する特別措置法」25年3月から施行しました。母子家庭の母の就業、母子団体等への受注の機会が増えることを願っております。

若年母子家庭が増えながら会員が減少している現状に、昨年7月に開催された「第45回北海道母子寡婦福祉研修大会」が皆さんの喚起になればと期待しております。

また自主事業の新千歳空港カフェテラス Boren は、関係機関の皆様のご支援と役職員一同の懸命な努力により少しずつ上昇してきておりますが消費税増税の影響がどのように反映されるか心配しておりますが、なお一層のご協力ご支援をお願いいたします。

道財政の悪化もあり道費補助金は同額でしたが、清掃事業委託費は関係各位のご尽力で微減で済みました。これからも母子家庭等の就労につながるよう努力いたします。

役職員一丸となり、母子福祉センターの適切な運営・管理と職場の確保に努力いたしておりますが改築18年を経過し、ブラインド取り替え、照明器具取り替え等年々補修費がかさむようになり費用の捻出に苦慮しております。

頒布事業の一環として地区母連と連携しゼンミ(株)のホームロール2,300ケースの目標に?ケースと大幅に上回ることができました。

旭川市に続き江別市と北見市で母子家庭の子どもを対象に土曜学習塾を開講したところ好評でしたので、来年度ももう少し他地域でも開塾できるよう各地域で頑張ってもらっています。

1. 自主事業

(1) 北海道母子福祉センターの運営と管理

・道費補助金も今年度は前年度と同額でしたが、経済不況の影響の中で母子センターの売上は宿泊が昨年度より少しですが増え少し明るい見通しとなりました。

総改築から18年を経過する母子福祉センターの補修箇所は年々増加傾向にあり、この費用の捻出も課題です。

平成25年度の施設利用実績は、宿泊 人・貸室 件 人・食堂 食で、

前年度より宿泊の利用客は増加しましたが食堂、貸室は減少しました。家庭的なサービスをモットーに来年度も一層のPRに努めたいと思います。

平成17年度より有償化された敷地賃借料の支払いもあり、施設運営は厳しいものがあります。職員8人(事務職2人・管理人2人・用務員1人・調理員3人)が従事。

(2) 北海道母子福祉振興基金事業

・今年度も(株)北洋銀行さんから45人分、(財)北海道新聞社会福祉振興基金さんから178人分の助成に道母連の果実収入を加え、母子家庭等の高校生227人に1人年額6万円の奨学金を給付。

(S51.4.1.1～H26.3.31通算37年 延7,964人)

道内経済は一向に回復せず、母子家庭の母の雇用形態は非正規雇用が多く不安定で、子の奨学金の給付は母子ともに大変喜ばれています。

(3) 特別生活資金貸付 貸付原資額 15,000万円

貸付期間 11月1日から翌3月末日

貸付実績 単位会 件 万円貸付

・昭和54年度から始まった冬季期間の灯油代貸付原資額は19,500万円でしたが、平成19年に原資額4,500万円を減額され15,000万円になる。

昨年度は灯油代が高騰し、貸付は感謝されており、貸付額も増えました。

(4) カフェテラスBoren 新千歳空港2Fセンタープラザに平成4年7月1日オープン

職員5人、年間営業日数 365日

平成25年度の売上総額は、 円

各関係機関とも連携を深め、周囲の状況を把握し工夫を加えることにより、売上増を図るよう努力してまいります。

2. 委託事業

(1) 道庁本庁舎及び公共施設清掃事業委託 (5施設、15ヶ所)

・昭和43年4月1日より道本庁舎、道庁別館、道立札幌医科大学校舎、道立心身障害者総合相談所及び中央児童相談所、道立子ども総合医療療育センター、

庁舎内公共施設、道委託など7ヶ所、諸委託8ヶ所 計15ヶ所の一般清掃を受託。

稼働人員40人(内事務職1人)・清掃面積 m^2 稼働日数244日

道財政の悪化もあり、道委託費は毎年減少しているが職場を開拓し、それぞれの職場に若い母子家庭の母が就労できるように今後も一層の職場拡充に努力したい。

(2) 道立病院院内保育所 保育業務委託(4ヶ所)

保育所4ヶ所(江差町、北見市、網走市、紋別市、)

児童在籍数 人 保育士・臨時保育士・事務職の 人が勤務

昭和53年度より受託

(3) 母子家庭等自立就業・支援センター事業委託

平成23年10月1日より道央圏域の母子家庭等就業・自立支援センター事業を道と室蘭市受託。

胆振・日高・石狩・後志と広範囲な地域を巡回特別相談等で訪問し就労に結びつくよう努力している。

就業相談員・促進員2人

3 部の報告

事業部 部長 竹内瑞恵

25年度は自主事業としての頒布事業はホームロールの24年度の目標2,300ケースでしたが2,861ケースと大幅に上回り各単位会皆様のご協力に感謝します。来年度も母子福祉センター・カフェテラス Boren のPRをお願いします。

研修部 部長 斉藤 睦

24年度の研修会は、全国統一テーマ

「つなげよう人の輪、広げよう地域の輪」としての取り組みとなりました。

一昨年実施した母子会のアンケートの結果を大事に研修会を各ブロックで開催したことと思います。

少しでもこの組織に魅力を感じ若年母子家庭が入会するような研修会を来年度も考えたいと思います。

広報部 部長 安達 史子

道母連と地域会員を結ぶ役割を果たす「道母連だより」を今年度も77号、78号の2回(24年9月、25年1月)発行することができました。